

# 予算決算常任委員会防災県土整備企業分科会提出資料

## 1 議案説明事項

### (1) 議案第173号

平成29年度三重県一般会計補正予算（第7号）について . . . . . 1

平成29年11月28日

県 土 整 備 部

## 平成 29 年度三重県一般会計補正予算（第 7 号）について（先議分）

（会計別総括表）

（単位：千円）

区 分	補正前の額	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計	70,883,684	7,448,551	78,332,235
土 木 費	64,608,539	1,758,551	66,367,090
災害復旧費	6,275,145	5,690,000	11,965,145
特 別 会 計	14,877,646	—	14,877,646
港湾整備事業特別会計	165,432	—	165,432
流域下水道事業特別会計	14,712,214	—	14,712,214
合 計	85,761,330	7,448,551	93,209,881

（事業別総括表）

（単位：千円）

区 分	補正前の額	補 正 額	補正後の予算額	
国 補 公 共 事 業	一般会計	22,871,559	229,150	23,100,709
	下水道特会	5,880,116	—	5,880,116
	合 計	28,751,675	229,150	28,980,825
直 轄 事 業	一般会計	13,602,414	—	13,602,414
県 単 公 共 事 業	一般会計	12,067,763	1,529,401	13,597,164
	下水道特会	154,955	—	154,955
	合 計	12,222,718	1,529,401	13,752,119
災 害 復 旧 事 業	一般会計	6,275,145	5,690,000	11,965,145
そ の 他 事 業	一般会計	16,066,803	—	16,066,803
	港湾特会	165,432	—	165,432
	下水道特会	8,677,143	—	8,677,143
	合 計	24,909,378	—	24,909,378
合 計	一般会計	70,883,684	7,448,551	78,332,235
	港湾特会	165,432	—	165,432
	下水道特会	14,712,214	—	14,712,214
	合 計	85,761,330	7,448,551	93,209,881

「補正前の額」には、議案第134号、第145号及び第146号によるものは含んでいません。

【国補公共事業】 229,150千円

港湾事業	国補港湾災害関連事業費	137,500千円
海岸事業	国補海岸災害関連事業費	91,650千円

【県単公共事業】 1,529,401千円

(主なもの)		
県単建設事業		1,046,043千円
	県単急傾斜地災害緊急対策事業費	360,000千円
	県単海岸局部改良費	286,000千円
	県単河川局部改良費	120,000千円
	県単災害関連推進事業費	100,000千円
	県単道路改築費	36,000千円
	都市公園等一体整備促進事業費	20,550千円
県単維持事業		475,358千円
	公共土木施設維持管理費	442,386千円
県単調査事業		8,000千円
	砂防調査費	8,000千円

【災害復旧事業】 5,690,000千円

平成29年災害土木(建設)復旧費	5,690,000千円
------------------	-------------

【繰越明許費】

(繰越明許費一覧表)

(単位：千円)

科 目	金 額	備 考
一般会計	5,884,110	
土木費	668,110	
道路橋りょう費	20,000	県単道路改築費
河川海岸費	566,040	県単急傾斜地災害緊急対策事業費 ほか7事業
港湾費	62,060	県単港湾改修費
都市計画費	20,010	都市公園等一体整備促進事業費
災害復旧費	5,216,000	
土木施設災害復旧費	5,216,000	平成29年災害土木(建設)復旧費
県土整備部計	5,884,110	

## 平成 29 年台風第 21 号及び第 22 号による被害状況について

### 1 台風第 21 号による公共土木施設の被害箇所数及び被害額状況

建設 事務所管内	県管理施設										被害額 (千円)
	箇所数									計	
	道橋 路梁	河川	海岸	砂防	急傾 斜	港湾	下 水 道	公園			
桑名	1	13								14	405,000
四日市		7		1						8	194,000
鈴鹿	5	11		1	1					18	546,000
津	11	28		2						41	1,460,000
松阪	18	25		2						45	1,075,000
伊勢	13	33		1				1		48	1,403,000
志摩	4	4								8	219,000
伊賀	23	42								65	1,518,000
尾鷲	5	6		7				1		19	548,000
熊野	15	25	1	2						43	1,145,000
計	95	194	1	16	1			2		309	8,513,000

### 2 災害査定の効率化

台風による被害からの早期復旧のため、国土交通省に対し災害査定の効率化を要望した結果、以下の2点について認められました。

- ①机上査定の限度額を「300万円未満」から「900万円以下」に引き上げ
- ②設計図書の簡素化

今後、12月11日から平成30年1月末までに災害査定を実施する予定です。

### 3 国補公共事業による対応

台風第21号に伴い、雲出川、櫛田川、宮川、五十鈴川等から流出した大量の流木等が海岸に漂着したため、この処理を災害関連緊急大規模漂着流木等処理対策事業にて実施します。

建設事務所	箇所数 (地区海岸)	処理額 (千円)
津	1	6,500
松阪	4	74,500
伊勢	5	148,150
計	10	229,150

#### 4 応急工事の実施

##### 道路の応急工事【御麻生菌豊原線(松阪市)】



##### 海岸漂着流木の撤去【宇治山田港海岸二見地区(伊勢市)】



#### 5 被災状況

##### 伊勢大宮線(度会町)【法面崩落】



##### 南浦海山線(紀北町)【法面崩落】



##### 国道311号(熊野市)【法面崩落】



##### 前深瀬川(伊賀市)【護岸損傷】

